

## 感染症情報 9月12日～9月18日

府下小児科201医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	678例(堺市 30例)
②溶連菌感染症	384例(堺市 24例)
③おたふくかぜ	303例(堺市 23例)
④RSウイルス感染症	248例(堺市 17例)
⑤咽頭結膜熱	106例(堺市 3例)

が報告された。

感染症報告数は前週より5.3%減の2,095件であった。報告の第1位は感染性胃腸炎で以下、溶連菌感染症、おたふくかぜ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱の順であった。2位の溶連菌感染症は府下では前週311例から23%増で、堺市では横ばいであった(22例→24例)。3位のおたふくかぜは府下では前週比8%減で、堺市では前週14例から23例に再び増加した(64%増)。4位のRSウイルス感染症は府下で5%増、堺市では前週12例から17例に増えている(42%増)。当科の近くでは流行している保育所もあるようで、大きな流行が懸念される。咽頭結膜熱は前週府下116例から今回106例で増加ではないが、5位になった。

関西空港内事業所から新規の麻疹は発生していないようであるが、大阪府下では上記報告期間中に6例が麻疹と報告されており、まだ終息していない。

風疹の報告はなかった。